

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2012
平成24年

8.15

元気をもらおう
真夏のお花畑！

目次

「しみんの広場」

2

米国プリンストン市・ギブソン郡との海外交流

「たね」の簡単&おいしい『産直レシピ』

地域の話題

市民活動を応援するページ

スクールリポート

6

学校生活の一コマを紹介

たはらシティニュース

7

連載コーナー

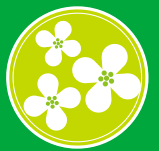
8

おしらせ

10

歴史探訪クラブ

12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 米国プリンス頓市ギブソン郡との海外交流……2ページ
- たねの簡単＆おいしい「産直レシピ」……3ページ
- 地域の話題（堀切校区）……4ページ
- 市民活動を応援するページ……5ページ

米国プリンス頓市ギブソン郡との海外交流

田原市の友好都市である米国インディアナ州プリンス頓市およびギブソン郡から、6月5日から13日までの9日間、中学生7名と引率者2名が田原市を訪れました。学校生活や家庭生活を体験しながら、交流を深めた様子をご紹介します。



訪問団の一行は、市内のホストファミリー宅に滞在し、日本での学校生活を体験しました。

ギブソン郡の生徒たちは、各中学校に通い、英語を始めほとんどの授業を、田原市の中学生と一緒に受けました。書道や七夕を題材にした授業では、日本の文化を体験し、感激した様子でした。会話をしながら給食を食べたり、休み時間にもクラスのみんなと交流したりするなど、楽しい思い出がたくさんできたようです。

また、田原市への理解を深めるため、市内観光を行いました。観光名所の伊良湖岬灯台やサンテパルクたはら、田原まつり会館、蔵王山展望台、そしてトヨタ自動車田原工場などを訪れました。恋路ヶ浜では、太平洋の雄大な風景に、思わず歓声が上がっていました。ウエルカムパーティーには、大勢の方が参

加し、友好都市の交流を図りました。訪問団一行は、楽しいゲームを披露し、会場を盛り上げました。

また、引率の先生方は田原市長を表敬訪問し、プリンス頓市長のメッセージを伝えました。中学校を訪れた際には、田原市の先生方と、教育について意見交換をしたり親交を深めたりしました。

● ギブソン郡の中学生の感想

体育では、とても楽しかったバレーボールの授業を受けました。私のチームはとても優しく、すばらしい生徒たちでした。

● 田原市の中学生の感想

5日間、私の家では、たくさんの英語と笑い声が聞こえていました。もっと英語を勉強して、アメリカで彼女たちに会いたいです。

（伊良湖岬中学校 青山琴音）



●一緒に授業を受ける様子



●ウエルカムパーティーでゲームを披露



●七夕で日本の文化を体験



●休み時間にもクラスの人々と積極的に交流



〆たね、の簡単&おいしい『産直レシピ』

広報サポーターの〆たね、が「旬を上手に、手軽でおいしく、誰にでも簡単にできる料理」をテーマに、季節の野菜「ナスとキュウリ」を使ったレシピをお届けします。



ナスとキュウリのさっぱり和え

【材料1人分】 エネルギー42kcal (たんぱく質1.5g)

- ナス 1本 ●キュウリ 1/2本 ●大葉 1枚 ●塩 少々
- すし酢 小さじ1 ●ごま油 1g ●薄口しょうゆ 小さじ1

【作り方】

- ①ナスはヘタを切り落とし、縦半分に切る。さらに縦半分に切り、3cmぐらいに切る。
- ②ボールにナスを入れ、軽く塩をふり、よくなじませておく。(ナスからアクと水分が出てきたら、水で洗い流し、しっかり絞る。)
- ③キュウリもナスと同じ大きさに切り、軽く塩をふり、なじませておく。
- ④耐熱容器に②のナスを入れ、ラップを軽く掛け、柔らかくなるぐらいまでレンジで加熱する。加熱できたら耐熱容器からナスを取り出し荒熱をとる。
- ⑤大葉を千切りにし、水にさらした後、水分をとっておく。
- ⑥④に水洗いして軽く絞ったキュウリと大葉を合わせる。
- ⑦すし酢・薄口しょうゆ・ごま油をよく混ぜ合わせる。
- ⑧⑥の合わせた野菜に⑦の調味料をかけていただく。

お好みで新ショウガやゴマを入れてもさわやかで、こくが出るのでおいしくいただけます。ガスを使わずレンジを使った献立です。暑い夏、台所に立つのもおっくうになるという方も多いと思います。朝に作って、荒熱が取れたら冷蔵庫で冷やして、夕食にいかがですか？調味料を変えると、付け合わせにもなります。

炒めキュウリのオイスターソース

【材料1人分】 エネルギー46kcal (たんぱく質0.4g)

- キュウリ 1/2本 ●サラダ油 2g ●水 大さじ2
- 鶏がらスープ(粉末) 1.5g ●オイスターソース 適量

【作り方】

- ①キュウリは4等分に切り、食べやすい太さに切りそろえる。
- ②フライパンにサラダ油を入れ、強火でキュウリを炒める。(キュウリは、短時間で色がきれいに!)
- ③キュウリの色がきれいになったら、鶏がらスープと水を入れ、さらに炒める。水分がなくなったら、できあがり。
- ④お皿に盛りつけ、オイスターソースをかけていただく。



●広報サポーターブログ「風の街のたはら」にも〆たね、のレシピを掲載中♪

広報サポーターの〆たね、が、旬の野菜などを使ったレシピを不定期で掲載していきます。また、広報サポーターの「めろんちゃん」「ナミちゃん」「megu」「りえ」も、楽しい話題を掲載していきますのでお楽しみに〜♪ ブログアドレス ●<http://kohotahara.dosugoi.net/>





▲避難状況を確認する様子(渥美運動公園テニスコート駐車場)



▲避難場所を目指して走る訓練参加者

地域の話題

堀切校区

地震・津波に負けない地域づくり 校区と学校、家族との結束

6月26日(火)に、堀切校区と堀切小学校が合同で行った
地震津波対応避難訓練について
堀切校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。

地域発

避難マップを作成

堀切校区では、東日本大震災を教訓に、避難場所をより高い安全な場所に変更しました。昨年9月、主な避難ルートや各地点の海拔などを表示した地震・津波避難マップを、避難する際のルートがより詳細にわかるように「堀切東」「堀切西」「小塩津」の3地区に分けて作成しました。

15分以内の避難を目標に！

今回の訓練は、参加者の行動や感想などから問題点を探り、現状の地震津波対策の見直しや改善を図るため、堀切校区と堀切小学校との合同で行いました。



▲地震・津波避難マップ
(堀切東地区)

東海、東南海、南海の三連動地震や南海トラフの巨大地震などが発生した場合、およそ20分で最大20mの津波が到達すると予測されています。堀切校区のほとんどが海拔5m以下の地帯。そのため、「全員15分以内に避難完了」と校区で目標を立てました。避難場所は、各地区で「渥美運動公園テニスコート駐車場」「寅之神社」「伊良湖岬中学校」の3か所の高台に設定し訓練を行いました。

地震・津波だ！さあ走れ！

午前7時5分、校区内に地震の発生を知らせるサイレンが鳴り、訓練がスタートしました。仕事や学校に行く支度をしていたお父さんやお母さん、子どもたちの手が止まり、家の中で落下物などから身を守ります。その2分後、「20分後に津波が来る」という放送が入り、各家庭一斉に指定された避難場所まで走りました。

小学生のほとんどは、学校で実施した避難訓練や放課の時間を利用した持久走訓練の成果もあり、目標の15分以内で避難できました。しかし、多くの大人は30分以上かかり、課題が残る結果となりました。

訓練を終えた参加者からは「これでは危ない。体力面の問題もあるが、各家庭でどのように避難すべきか話し合う機会が必要」「避難訓練の回数を増やさない」となどの感想が聞かれました。

被災者ゼロを目指して

堀切校区では、今後も地域と学校、家庭が連携したさまざまな避難訓練を継続的に実施し、防災意識の向上と津波被災者ゼロを目指していきたいと思っています。



市民活動を応援するページ

市民活動紹介

特定非営利活動法人 渥美半島ハイキングクラブ

～一緒に山歩きしませんか？～

渥美半島ハイキングクラブは、平成14年、渥美半島中央部を三河湾から太平洋に抜ける横断ハイキングコース『あつみトレイル』をよみがえらせるために発足しました。平成19年には、NPO法人の認証を得ました。現在は、ハイキングを楽しみながら身近な自然に触れ、環境やまちづくりについて考え、そして行動することを目的に、「清掃登山イベント」の開催やハイキングコースの整備、道標の追加・変更などを行っています。

会員一人ひとりが得意なことを生かしながらか、お互いに楽しんで活動しています。山歩きしたい方、渥美半島をきれいにしたい方、自然について知りたい方、エベレストに行きたい方など、皆さん一緒に活動しませんか。



▲ 柵(なぐさ)峠を下る会員の皆さん



▲ 道標を設置する様子



▲ 完成した道標(大山古道)

特定非営利活動法人 渥美半島ハイキングクラブ ◆ 代表理事 鈴木一敏

問い合わせ ▶ ☎ 090-7863-3229 ✉ rakuen@tees.jp ブログ : <http://atsumihanto-hc.seesaa.net/>

市民提案

あなたの市民活動に補助金を活用しよう！

「市民協働まちづくり事業補助金」の二次募集を行います。

市民の連帯や地域振興、市民公益活動の促進を目的に、田原市が交付している補助金です。市民感覚の自由な発想で、創意工夫を凝らした事業をご提案ください。

- **対象事業** 市内で市民に対して実施され、公共性・公益性が期待される「福祉」「まちづくり」「環境保全」「子どもの健全育成」などの活動で、平成25年2月末日までに完了するもの
- **対象団体** 市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体
- **補助額** 1事業につき補助対象経費の2分の1(上限20万円)
- **募集期間** 9月18日(日)まで ※午後5時必着
- **応募方法** 市民協働課で配布する申請用紙に必要事項を記入して直接または郵送にて提出。申請用紙や応募の手引は市ホームページからもダウンロード可(<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)
- **審査方法** 書類審査および公開審査会(10月上旬予定)での提案説明
- **その他** 制度の内容、申請書の書き方など応募に関するご相談を、市民活動支援センター(開設日は下段を参照)で受け付けています。
- **応募・問い合わせ先** 市民協働課 ☎ 23局3504 ☎ 23局0180 ✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

■ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

● お問い合わせ : ☎ 22局 1111 (内線 812) ※ 開設時間のみ ☎ 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールリポート

SCHOOL REPORT 49
 学校生活の
 一コマを紹介

今回は、小学校の「ふるさと学習宿泊体験」と「魚道の観察」の様子と、「izumiふれんど広場」を作った中学校の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

田原南部小学校「ふるさと学習宿泊体験」

笑顔で交流！新しい友だちができたよ！

6月20日から3日間、本校と高松小学校の5年生が、津具高原グリーンパークで宿泊体験を行いました。これは、小規模校の児童が共同生活を通して親睦を図り、新たな人間関係をつくることを目的の一つとしています。

初日は、2つの学校の混成チームに分かれ、パターゴルフ大会を行いました。お互いに教えながら楽しく回ることができ、大きな歓声がいたる所で上がるなど、すっかり意気投合した様子でした。その後も、ドッジボール、五平餅づくりなどを共同で行うことで交流が深まり、笑顔いっぱいの貴重な体験となりました。



▲盛り上がったパターゴルフ大会

清田小学校「魚道の観察」

ふるさとの豊かな自然を発見！



▲魚道を上がっていく魚を観察

毎年6月、4年生が高木町に設置されている「水田魚道」の観察を行っています。水田魚道は、水田地域に生息する魚類の生物多様性を保ち、遡上する魚類の観察や調査をするためのものです。

今年は6月25日に、清田地域環境保全会会長の木村春雄さんを招き、観察会を行いました。魚道を通る魚を観察したり、水路の生き物を網で捕まえたりしました。体長16cmのドジョウ、カニ、エビ、アユ、ウキゴイのほか、珍しいカワアナゴも見つかりました。

児童たちは、ふるさとの豊かな自然に触れ、誇りに思う気持ちをもつことができたようです。

泉中学校「izumiふれんど広場」

語り合う憩いの場で地域と交流を！

「深めよう友情、語り合おう未来」をテーマに、生徒や教師、地域の方が語り合える場を設けました。これは、平成23年度の魅力ある学校づくりプロジェクトで整備したもので、中庭に芝を張り、ベンチを置きました。

昨年度、この中庭の愛称を生徒から募集し、西川実里さん(当時3年)の「izumiふれんど広場」に決まりました。普段は、生徒たちの憩いの場となっていますが、授業や行事でも活用しています。青々とした芝生が気持ちよく、思わず会話も弾み、生徒たちは楽しいひとときを過ごしています。保護者の皆さんもぜひお越しください。



▲ベンチに座り語り合う生徒



▲【出場メンバー】小川功治(指揮者)・杉浦通仁(1番員)・井本豪(2番員)・渡會明史(3番員)・小川泰且(補助員)／敬称略

愛知県消防操法大会が半田市で行われ、田原市消防団代表として福江分団が出場しました。この大会は、放水までの時間と行動審査で競い合うもので、福江分団の総合順位は15チーム中7位と健闘しました。

※放水までの時間は15チーム中1位

7月21日
訓練を重ね
成果を競う



▲牛乳パックを再利用してキャンディボックスなどの小物を作る参加者

たはらエコフェスタが田原文化会館一帯で開催され、親子など約2000名が来場しました。フォトジャーナリスト山田周生さんの講演会や打ち水キャンペーンのほか、工作教室などが行われ、「エコ」について楽しみながら学べる一日となりました。

7月22日
みんなで楽しく
エコにふれよう！

頑張れ！ 田原っ子

全国大会などに出場を決めた皆さんをご紹介します。皆さんの活躍に期待します！

◆全日本卓球選手権大会

(兵庫県神戸市 7/27～29)



◎ファンタジスタS.C

山本駿介くん(福江小5年)

◆若葉カップ全国小学生バドミントン大会

(京都府長岡京市 7/27～30)



◎T-jump Jr.

【写真右から】

木田大智くん(若戸小6年)

大谷悠斗くん(童浦小5年)

河辺颯真くん(田原東部小4年)

志賀伊吹くん(衣笠小4年)

安田凌くん(田原東部小4年)

大羽航正くん(衣笠小3年)

伊藤伊吹くん(野田小3年)

◆全国小学生陸上競技交流大会

(神奈川県横浜 8/24～25)



◎田原陸上クラブ

女子走高跳

成田朱花さん(神戸小6年)

女子走幅跳

平松葵美さん(童浦小6年)

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

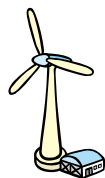
76

●再生可能エネルギー固定価格買取制度が始まっています

今年7月1日に施行された再生可能エネルギー特別措置法。これに基づき、再生可能エネルギー固定価格買取制度が始まりました。

◇再生可能エネルギーとは

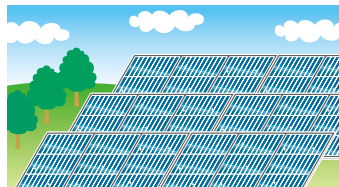
自然界で繰り返し起こる現象から取り出すエネルギーです。資源が枯渇しないため持続的に利用可能であるほか、発電時に二酸化炭素の排出がほとんどないことが最大の利点です。



※今回の制度による買取対象は、太陽光、風力、地熱、中小規模水力、バイオマスの5種類

◇買取制度が普及を促進

再生可能エネルギーによって作られた電力を、電力会社が一定期間・一定価格で買い取ることを国が約束する制度です。これにより、導入費用の回収見



通しが立つことで民間事業者が参入しやすくなり、再生可能エネルギーの普及の後押しになると期待されています。

◇買取費用は電気利用者も負担

電力会社が買い取った費用の一部は、私たち電気利用者が、賦課金として負担します。固定価格買取制度

は、再生可能エネルギーの導入費用を社会全体で支える仕組みです。



今回は、市内の再生可能エネルギー導入状況などについてご紹介します。



●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1858人・事業所80か所(7月末現在)

▼エコエネ推進課

☎23局74011 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん 4



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

「飼い犬が野犬に襲われた」「家畜が野犬に襲われた」など、最近、野犬に関する苦情が多く寄せられています。被害を増やさないよう、次のことに協力ください。



◇市民の皆さんへ

生ゴミが野犬のエサにならないよう、適切に処理しましょう。

家庭から出る生ゴミは、必ず決められた日時・場所に出す。

生ゴミを堆肥にしている方は、コンポスターなどを利用する。

野犬には絶対にエサを与えない。

犬を飼っている方へ
飼いが犬が逃亡しないよう、ご注意ください。

係留器具(首輪・鎖・リード・杭)の破損・磨耗・変形を見つけたら、すぐに交換する。

放し飼いは絶対

にしない。



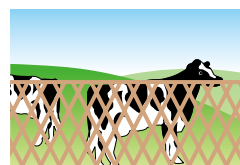
◇畜産農家の方へ

家畜などが野犬に襲われないよう、ご注意ください。

家畜(牛・豚・鶏など)が襲われたり、家畜のエサが盗み食いされたりしないよう、畜舎

周りに進入防止策(フェンス・カーテンなど)を講じる。

死亡した家畜は正しく処理する。



野犬を捕獲したいときは、地区の役員さんを通じて環境衛生課へご連絡ください。田原市と県動物保護管理センターでは捕獲檻の貸出を行っています。貸出中の捕獲檻の管理(移動やエサ入れ)は、借主の方にお願ひしています。野犬が捕獲できたときは、県動物保護管理センターが引き取ります。



▼環境衛生課

☎23局35411 FAX23局0180

▼県動物保護管理センター東三河支所

☎(0532)33局3777

交 流 通 信

国際化推進部 | 国内外との交流・多文化共生

田原市で農業を学ぶ JICA研修生が田原市を訪問

独立行政法人国際協力機構（JICA）研修生が田原市で農業研修を行いました。

独立行政法人国際協力機構（JICA）「流域水管理に基づくかんがい排水」コースの研修生が田原市を訪問し、豊川用水と田原市の農業について研修を行いました。田原市では、JICAの研修生を昭和63年から毎年受け入れており、昨年度までに54か国278名の研修生が田原市を訪れています。

●研修の目的

この研修は、開発途上国のかんがい排水分野で活動している若手技術者を対象に行われており、総合的水管理とかんがい排水に関する知識と技術を習得することを目的としています。



▲水田を見学

●農業を学び、交流を深める

研修生は、2月から8月まで日本に滞在し、主に茨城

県にあるJICAの施設で研修を受講。田原市には、アフリカやアジアの6か国



▲施設園芸（菊）の説明を聞く研修生

7名が、豊川用水の通水により飛躍的に発展を遂げた農業の優良事例の現地研修として8月2日（木）から2泊3日の日程で訪問しました。

研修生は、豊川上流域のダムなどについて学習した後、田原市でJAの施設や豊川用水の揚水機場、初立池を視察したり、水田や施設園芸の温室を見学しながら、農家の方の話を聞いたりしました。

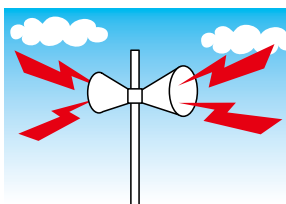
また、研修期間中は、ホームステイを通じて市民との交流を深めました。

▶広報秘書課 ☎22局0138

- 緊急地震速報（田原市で震度4以上が予測される場合）
- 津波注意報／津波警報／大津波

◆放送される情報

市内246か所に設置してある防災行政無線から自動的にサイレンと音声でお知らせします。



◆J-ALERTとは

地震・津波や武力攻撃など、国が発信する緊急情報を、人工衛星と市の防災行政無線を利用して、瞬時に市民の皆さんにお知らせするシステムです。

今回は、このJ-ALERTについてご紹介いたします。

今回は、このJ-ALERTについてご紹介いたします。

みんなできり組む防災・減災

防災知恵袋

16



▼防災対策課 ☎23局3548

◆全国一斉自動放送試験

災害時に、国が発信する緊急情報を確実に市民の皆さんにお伝えするため、全国一斉に自動放送試験を実施します。田原市でも、市内に設置されている防災行政無線から次の内容を一斉に放送します。

●実施日時

9月12日（水）午前10時ごろ、午前10時30分ごろの2回

●放送内容

「これは、試験放送です」×3回
「こちらは、広報たはらです」
↓チャイム（終了）

警報

- 東海地震注意情報／東海地震予知情報
- 弾道ミサイル情報／航空攻撃情報／ゲリラ・特殊部隊攻撃情報／大規模テロ情報



募集

田原市立小・中学校 常勤・非常勤講師

▼応募資格Ⅱ次の要件をいずれも満たす方①子どもが好きで学校教育に熱心に取り組むことができる方②教員免許所持者（採用時に取得見込みの方も可）▼受付期間Ⅱ随時（市役所執務時間中）▼申し込みⅡ市販の履歴書に顔写真を貼り、必要事項を記入し、教員免許を所持している方はコピーを添えて、直接または郵送にて

▼学校教育課

〒441-3492 住所不要

☎23局3679 FAX22局3811

田原市臨時職員 （図書館業務）

▼募集人員Ⅱ1名 ▼採用期間Ⅱ10月1日～平成25年3月31日 ▼勤務場所Ⅱ中央図書館 ▼勤務内容Ⅱ図書館業務全般 ▼勤務形態Ⅱ火・金曜日および土曜日または日曜日、祝日／午前8時30分～午後5時15分（不規則勤務あり）▼賃金Ⅱ時給830円 ▼選考方法Ⅱ面接（詳細は後日通知）▼申し込みⅡ9月11日（火）までに、中央・赤羽根・渥美図書館にある申込用紙に必要な事項を記入のうえ中央図書館一般カウンターへ提出

☎23局4946 FAX23局4646



高齢者連続講座 「しおさい大学」後期 受講生

▼テーマⅡ健康づくりと生きがいのある豊かな人生をめざして ▼対象Ⅱできるだけ連続で受講できる方（60歳以上の方優先）▼開催日／テーマⅡ表のとおり ▼場所Ⅱ【田原地区】田原福祉センター・田原文化会館ほか【渥美地区】あつみライフランド・渥

「しおさい大学」

開催日		テーマ
田原地区	渥美地区	
10/30 ㊦	10/31 ㊦	ふれあいウォーキング
11/19 ㊦	11/7 ㊦	かんたん健康体操
12/7 ㊦	12/21 ㊦	そば打ち体験
1/18 ㊦	1/25 ㊦	災害時の避難所の健康管理について
2/1 ㊦	2/22 ㊦	お料理教室
3/8 ㊦	3/15 ㊦	漫談大道芸と座談会

美文化会館ほか ▼時間Ⅱいずれも午後1時30分～3時 ▼定員Ⅱ各70名程度 ▼受講料Ⅱ無料（ただし材料費は実費）▼申し込みⅡ9月28日（金）までに電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は希望地区名・住所・氏名・電話番号を明記）▼生涯学習課

☎23局3531 FAX22局3811

✉syogaku@city.tahara.aichi.jp



生活

6月10日は「下水道の日」 下水道を正しく使いまじょう

■下水道接続にご協力を！

下水道は、私たちの家庭などから出る生活排水をきれいにして川や海に戻し、快適な生活環境をつくるとともに、海や川を汚染から守るための施設です。下水道を使える区域でまだ接続をしていない方は、接続にご協力ください。

■異物を流さないで！

下水道施設へ異物が流入すると、故障の原因になり、適切な汚水処理ができなくなります。水洗便器に、トイレットペーパー以外のものを流さないようにしましょう。

最近、下水道の汲み上げポンプに、パンツやおしぼりなどがつまり、修理することが多くなっています。



▼下水道課

☎23局3525 FAX22局3184

きゅうきゆう広場を 開催します

9月9日は「救急の日」です。また、この日を含む1週間は「救急医療週間」と定められています。

これに合わせて、「きゅうきゆう広場」を開催します。

この機会に応急手当を身につけませんか。申し込みは不要です。お気軽にお越しください。



▼日時 9月8日(土) 午前11時～午後2時
▼場所 ショッピングタウン パオ(1階中央広場)
▼内容 消防職員による心肺蘇生法デモンストレーション、訓練人形を使用した人工呼吸・胸骨圧迫心臓マッサージ、AEDの体験(体験者には記念品を差し上げます)、パネル展示
▼消防署
☎ 23局 4075 FAX 23局 2440

全国斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間

虐待など、高齢者・障害者の人権にかかわる悩みごと、心配ごとなどの相談に応じます。相談内容の秘密は固く守られますので、ひとりで悩

まず、お気軽にご相談ください。

▼日時 9月10日(月)～16日(日)
午前8時30分～午後7時(土・日曜日は午前10時～午後5時)
▼相談担当者 人権擁護委員

相談専用電話

☎ (0570)003局110
▼名古屋法務局人権擁護部
☎ (052)952局8111

医学の発展のため 献体にご協力ください

医学生、歯学生の実習のために必要な遺体が、慢性的に不足しています。医学の発展を願い、自らの遺体を献納していただける方を探しています。ぜひご協力ください。

なお、献体と同時にアイバンクにも登録されます。



▼公益財団法人不老会田原市支部
☎ 22局 0165

寄付

次の方からご寄附をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼7月12日、並樹会様から地域福祉のため金3万3000円。

財団法人華山会からのお知らせ

◆華山会館喫茶部テナント募集

主な条件は次のとおりです。

- ▼面積 118.5㎡(内、33.2㎡は厨房) ▼家賃 無料 ▼共益費、水道光熱費 協議により決定
- ▼改装 工事費は出店者の負担
- ▼什器・備品 現在、喫茶部に設置のものは無償貸与 ▼希望営業時間 午前9時～午後5時のうち5時間以上 ▼保証金 10万円(契約期間満了時に返還) ▼契約期間 3年間(以降毎年更新) ▼申込期限 9月30日(日) ▼審査 面接後決定

◆出張講座

財団法人華山会では郷土の先覚者渡辺華山の活躍を広く一般に伝えるため、各種団体やグループが開催する講座に、さまざまな分野の講師を無料で派遣しています。

お気軽にお問い合わせください。



◆華山会館利用のご案内

施設使用料を時間単位とし、一層利用しやすくしました。

室名		部屋の形状等	昼間	夜間	備考
			9:00～17:00	17:00～22:00	
1階	披露宴室	会議1室	2000円	10000円	昼間は時間単位で、夜間は1回の料金
		パーティー1室	4000円	20000円	
2階	研修室	机15個 いす30脚	800円		昼間は時間単位の料金。夜間の利用は、披露宴室併用の場合のみ利用可。(使用料は、昼間と同額)
	和室①	6畳2間	400円		
	和室②	6畳1間	200円		
3階	会議室	16席 (円卓形)	800円		

※休館日：毎週月曜日／申込受付：会場使用の6か月前から

▼財団法人華山会事務局

(田原市田原町巴江12番地1)

☎ 22局 1700

✉ kazankaikan@tees.jp

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
137



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

太古をつなぐ植物 ヤチャヤナギ

県指定天然記念物「黒河湿地植物群落」(大久保町)は、東海地方固有の湿地で、シデコブシやシラタマホシクサなどの湿地植物が群生していることで知られています。春先に咲く、シデコブシの花を観察に行った方も多いのではないのでしょうか。東海地方の特徴的な性質を持つ黒河湿地は、県内でいち早く価値を認められ、天然記念物の湿地の分野で指定第1号となっています。

渥美半島では、シデコブシが注目



▲ヤチャヤナギの花粉

されがちですが、黒河湿地で最も希少な植物はヤチャヤナギです。これは寒冷地の植物で、日本では北海道のサロベツ湿原、群馬・新潟・福島にまたがる尾瀬ヶ原など北方の湿原に見られます。しかし、なぜか黒河湿地や四日市市の御池沼沢湿原にも見られるのです。このような暖かい場所にあることは極めて珍しく、貴重な自生地といえます。

歴史探訪クラブで、「な

んで植物の話を？」と思う

方がいるかもしれません。

田原市で一番古い遺跡である

宮西遺跡(大久保町)は、

かつて野田周辺の水田地帯

が湿原だったころ、湿原に

集まる動物を狩猟する人た

ちがくらしした場所でした。



●ヤチャヤナギ(黒河湿地植物群落)

その湿原の植物が泥のようになってきた泥炭(3万年から2万5千年前の最終氷河期のもの)から、ある植物の花粉の化石が発見されました。分析では、ヤマモモ科のものと鑑定され、当時の寒い気候と花粉の形態から、ヤチャヤナギの花粉であると結論づけられました。また、ヤチャヤナギの花粉は、泥炭から見つかっ

た花粉の3分の1にも及び、氷河期の湿原周辺には、ヤチャヤナギが多く群生していたことが分かりました。「黒河湿地のヤチャヤナギは氷河期の生き残り」ともいわれてきたのですが、それを鮮やかに証明した分析結果でした。

発見されたヤチャヤナギの花粉は、宮西遺跡の時代(旧石器・縄文時代始め)からさらに古い年代でしたが、宮西遺跡でくらしした人たちも、このヤチャヤナギを見ていたに違いありません。もともと昔、寒く環境も全く違ったこの田原で、たくましく生き抜いた私たちの祖先が見た風景の一部を、黒河湿地で体験できます。

(増山)

今月の「表紙」

▼照りつける日差しをものともせず、鮮やかに咲くポーチュラカ。その花言葉の一つは「いつも元気」です。太陽の強い日差しが大好きで、暑くても夏バテしないこの花とは対照的に、撮影していた私はたった15分で汗だくでヘトヘト…。改めて体力のなさを実感しました。(O)

【表紙の写真】サンテパルクたはらのお花畑